

F*TRAN+ V5.5 アップデータ
V5.5.2
導入手順書

2009年3月

株式会社富士通ビー・エス・シー

1. アップデータについて

アップデータ V5.5.2 は F*TRAN+ V5.5 の障害対応や、機能追加をおこなう更新プログラムです。このアップデータの対象バージョンと更新内容は以下のとおりです。

1.1. 対象

- F*TRAN+ V5.5
- “F*TRAN+ V5.5 アップデータ V5.5.1” を適用した F*TRAN+ V5.5

1.2. 更新内容

このアップデータで新規に更新された内容と過去のアップデータで更新された内容は次のとおりです。なお、このアップデータは F*TRAN+ V5.5 に対してこれまで提供されたアップデータを含んでいます。よって、このアップデータを適用することで以前のアップデータは必要ありません。

新規更新内容

- Windows Server 2008 では、統合インストーラからインストーラが起動できない障害を修正しました。
- シフトアウトコードが signed でマイナスとなる場合 (0xFF、0x88、0x01A1 など)、シフトアウトコードとして認識出来ずに文字として変換してしまう障害を修正しました。三菱の場合、標準でシフトアウトコードが 0x0AF1 となるため、0xF1 が変換されてしまいます。
- WindowsCOBOL を変更しても、マップ設定のプレビュー時に反映されない障害を修正しました。
- Win→ホスト変換で、表示・2進変換時、i4u へ変換する場合、データが「2147483648」を超えると全て「80000000」になってしまう障害を修正しました。

過去のアップデータでの更新内容

- 標準インストールモードでインストールし、多重実行した場合にログ出力が.log ファイルに追記されずログフォルダに拡張子.llg のファイルが複数作成される場合がある障害を修正しました。(Windows Vista、Windows Server 2008 でのみ発生、アップデータ V5.5.1)
- V4.0 までの KKT を V5.5 で読み込むと F*TRAN+が異常終了する障害を修正しました。(アップデータ V5.5.1)
- スクリプトファイル上でマップ設定部分の空白を除いた文字数が 4000 バイトを超える記述がある場合、画面から変換を行おうとすると異常終了する障害を修正しました。なお、スクリプトファイルのダブルクリックやバッチでの起動では問題なく起動できます。(アップデータ V5.5.1)

2. アップデート手順

インストールされている F*TRAN+ V5.5 をアップデートする手順は以下のとおりです。

注意事項

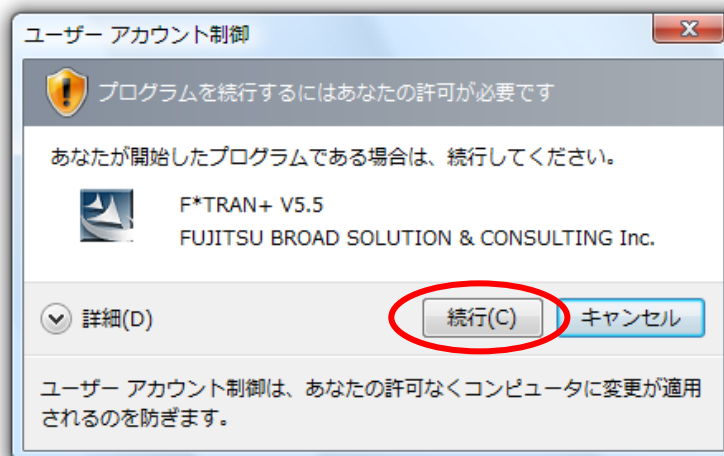
- ✓ このアップデートは対象バージョンの F*TRAN+ V5.5 がインストールされていないと実行できません。
- ✓ アップデートは管理者 (Administrator) と同等の権限があるユーザーでログインをし、実行してください。(権限がないとアップデートできません)
- ✓ アップデートをする前に、起動中の F*TRAN+ は終了させておいてください。

① アップデータのダウンロード

アップデートを F*TRAN のホームページよりダウンロードします。

② アップデータの起動

管理者権限のあるユーザーでログインして、ダウンロードしたファイル “fp55v552up.exe” をエクスプローラからダブルクリックして起動します。Windows Vista の場合、起動時に以下の「ユーザー アカウント制御」の画面が表示されますので、“続行(C)” をクリックします。



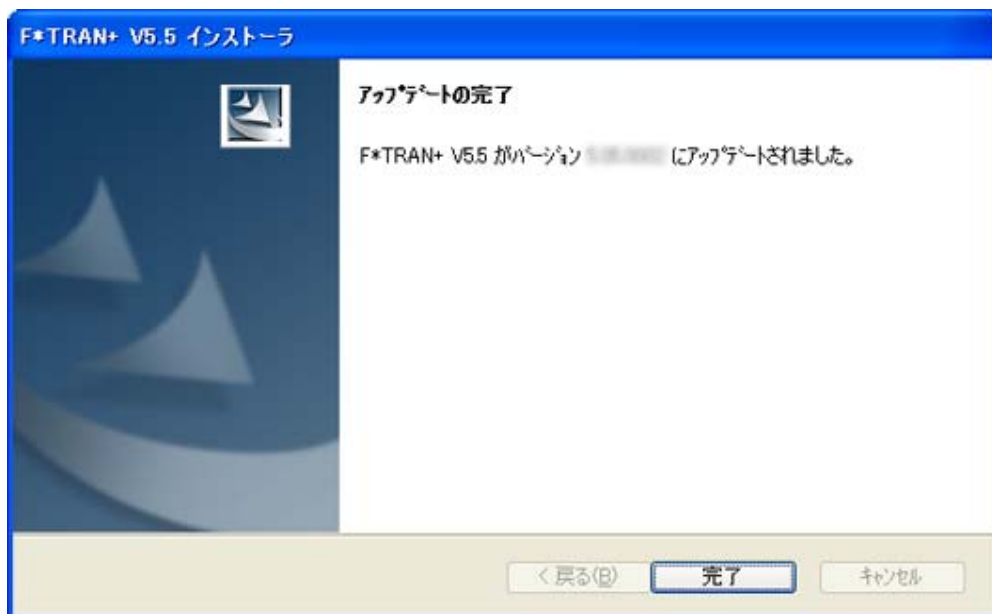
③ アップデートの開始

以下の画面が表示されますので、“次へ(N)>” をクリックしてアップデートを開始してください。



④ アップデートの完了

アップデートが完了すると以下のような画面が表示されます。“完了” をクリックしてください。



以上でアップデートは完了です。



F*TRAN+ V5.5 アップデータ V5.5.2 導入手順書

2009年3月 第1版発行

Copyright 2009 株式会社富士通ビー・エス・シー
